

第13回
広島肝臓プロジェクト研究センター
シンポジウムのご案内

日時 平成29年7月1日(土)
12:30 ~ 18:20

場所 ホテルグランヴィア広島
3階 天平の間

会費 500円

プログラム

開会のあいさつ 広島肝臓プロジェクト研究センター長 茶山 一彰

一般演題

12:35～ セッションI C型肝炎

座長:広島大学大学院疫学・疾病制御学
広島大学大学院消化器・代謝内科学

田中 純子
柘植 雅貴

1. miR-122非依存的なHCVの増殖

小野 慎子¹、福原 崇介¹、平賀 伸彦²、今村 道雄²、巽 智秀³、竹原 徹郎³、脇田 隆字⁴、小池 和彦⁵、茶山 一彰²、松浦 善治¹
大阪大学微生物病研究所分子ウイルス分野¹、広島大学消化器・代謝内科学²、大阪大学消化器内科学³、国立感染症研究所⁴、東京大学消化器内科学⁵

2. 宿主因子RRM2のC型肝炎ウイルス複製因子としての役割

小原 恭子^{1,2}、Bouchra Kitab^{1,2}、小原 道法³
鹿児島大学共同獣医学部越境性動物疾病制御研究センター¹、鹿児島大学共同獣医学部動物衛生学分野²、東京都医学総合研究所感染制御プロジェクト³

3. レジバスピル/ソホスビル配合剤による肝発癌抑制効果～プロテアーゼ阻害剤併用PegIFN/RBVとの比較～

是永 匡紹¹、溝上 雅史²
国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター肝炎情報センター¹、国立国際医療研究センターゲノム医学プロジェクト²

4. 慢性肝疾患関連患者のQOLスコアを用いた広島県における治療導入の医療経済評価に関する研究

海嶋照美¹、秋田智之¹、大久真幸¹、坂宗 和明¹、栗栖あけみ¹、杉山文¹、相方浩²、茶山一彰²、田中純子¹
広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 疫学・疾病制御学¹、広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 消化器・代謝内科学²

13:23～ セッションII B型肝炎

座長:広島大学大学院消化器・代謝内科学
広島大学大学院ウイルス学

茶山 一彰
坂口 剛正

5. 新規ペグ化インターフェロンβを用いたB型肝炎ウイルスに対する抗ウイルス効果の検討

柘植 雅貴^{1,2}、内田 宅郎^{1,2}、平賀 伸彦^{1,2}、阿部 弘美^{1,2}、三木 大樹^{1,2}、今村 道雄^{1,2}、越智 秀典^{1,2}、C. Nelson Hayes^{1,2}、下園 利恵子³、岩村 智勝³、成見 英樹³、鈴木 知比古³、
戒能 美枝³、茶山 一彰^{1,2}
広島大学大学院医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学¹、広島大学肝臓プロジェクト研究センター²、東レ株式会社医薬研究所³

6. ヒト肝細胞キメラマウスに由来する新鮮ヒト肝細胞(PXB-cells®)を用いたB型肝炎ウイルス粒子の不活化処理の有効性検討

山尾 美香留¹、小川 裕子¹、稲松 睦¹、石田 雄二^{1,2}、立野 知世^{1,2}
株式会社フェニックスバイオ 研究開発部¹、広島大学肝臓プロジェクト研究センター²

7. カンボジア王国における乳児HBワクチン導入後のHBV感染状況に関する血清疫学的、ウイルス遺伝子学的検討

藤本 真弓、Chun Channarena、Ko Ko、Somana Svay、片山 恵子、山本 周子、永島 慎太郎、田中 純子
広島大学大学院医歯薬保健学研究科疫学・疾病制御学

8. In response to inflammatory response HBV-X regulates its own mRNA stability by inducing Ski2 expression and RNA exosome activity.

Hussein H. Aly¹、Fumihiko Shiromoto¹、Takanobu Kato¹、Koichi Watashi¹、Kazuaki Chayama²、Takaji Wakita¹
Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases¹
Department of Gastroenterology and Metabolism, Institute of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University²

14:11～ セッションIII 再生・線維化

座長:JA広島総合病院消化器内科
広島大学大学院消化器・代謝内科学

兵庫 秀幸
今村 道雄

9. 肝再生におけるM2BPGiの検討

石井 範洋¹、新木 健一郎¹、萩原 慶¹、山中 崇弘¹、塚越 真梨子¹、五十嵐 隆通¹、渡辺 亮¹、久保 憲生¹、別城 悠樹²、前原 喜彦²、桑野 博行¹、調 憲¹
群馬大学大学院総合外科学¹、九州大学大学院消化器・総合外科²

10. NASHモデルマウスを用いた肝切除量の違いによる肝再生能に対する影響

小澤 佑介¹、田村 孝史¹、大和田 洋平¹、清水 義夫¹、釘持 明¹、松坂 賢²、島野 仁²、大河内 信弘¹
筑波大学消化器外科・臓器移植外科¹、筑波大学内分代謝・糖尿病内科²

11.all-transレチノイン酸のTXNIP発現制御による酸化ストレスおよび肝星細胞活性化抑制

清水 寛基、汐田 剛史
鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学部門

12.Wnt/ β -catenin/CBPシグナル阻害剤PRI-724によるNASH肝線維症改善

小原 道法¹、山地 賢三郎¹、徳永 優子¹、大槻 貴博¹、大澤 陽介^{1,2}、木村 公則²
東京都医学総合研究所 感染制御プロジェクト¹、東京都立駒込病院肝臓内科²

15:00~15:15 Coffee Break

15:15~ セッションIV 酸化ストレス・細胞

座長:高陽ニュータウン病院
国立病院機構呉医療センター外科

高橋 祥一
田代 裕尊

13.エイコサペンタエン酸はオートファジーを介して飽和脂肪酸による小胞体ストレスを軽減する

荻野 学芳、草永 真志、南 創太、宮川 恒一郎、大江 晋司、本間 雄一、原田 大
産業医科大学第3内科学

14.鉄キレートによるmitophagy誘導機構の解明

原 裕一、佐々木 恭、仁科 惣治、日野 啓輔
川崎医科大学肝胆脾内科学

15.肝星細胞-実質細胞間結合の消失と再生-四塩化炭素単回投与モデル肝の微細形態学的観察

和氣 健二郎^{1,3,4}、井上 孝二²、松原 勤³、宇留島 隼人³、池田 一雄³、佐藤 哲二^{1,2}
鶴見大歯・解剖組織¹、同電顕センター²、大阪市大医・機能細胞形態学³、(株)ミノファージェン製薬⁴

16.肝臓細胞の疎水性基質への接着現象について

吉里 勝利^{1,2}、松原 三佐子¹
大阪市立大学医学研究科合成生物学寄付講座¹、株式会社フェニックスバイオ²

16:03~ セッションV 免疫・癌

座長:広島大学大学院消化器・移植外科学
大阪市立大学特任教授/フェニックスバイオ学術顧問

大段 秀樹
吉里 勝利

17.原発性胆汁性胆管炎(PBC)の初期には1型IFN経路が重要な役割を果たす

下田 慎治¹、原田 憲一²、中村 稔³
九州大学病態修復内科学¹、金沢大学形態機能病理学²、長崎医療センター³

18.原発性胆汁性胆管炎のCD4+Tcellは病態特異的なT細胞受容体レパートリーを有しその病態形成に関わる

中川 良^{1,2}、室山 良介¹、佐伯 千里²、及川 恒一²、林 阿英¹、小池 和彦²、松原 康朗¹、猿田 雅之²、加藤 直也^{1,3}、銭谷 幹男⁴
東京大学医科学研究所先端ゲノム医学分野¹、東京慈恵会医科大学消化器肝臓内科²、千葉大学大学院医学研究院消化器内科学³、医療法人財団順和会山王病院⁴

19.周術期における肝内在性NK細胞の抗腫瘍活性

大平 真裕^{1,2}、矢野 琢也^{1,2}、中野 亮介^{1,2}、今岡 祐輝^{1,2}、秋本 修志^{1,2}、田口 和浩^{1,2}、田中 飛鳥^{1,2}、柳川 泉一郎^{1,2}、石田 伸樹^{1,2}、坂井 寛^{1,2}、佐伯 吉弘^{1,2}、清水 誠一^{1,2}、
田原 裕之^{1,2}、井手 健太郎^{1,2}、小林 剛^{1,2}、田中 友加^{1,2}、大段 秀樹^{1,2}
広島大学大学院消化器・移植外科学¹、広島肝臓プロジェクト研究センター²

20.肝細胞癌でのANP32Bによるアポトーシス制御、予後への影響

大野 芳敬、小泉 光仁、渡辺 崇夫、廣岡 昌史、徳本 良雄、黒田 太良、阿部 雅則、今村 良樹、熊木 天児、日浅 陽一
愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学

21.血管新生阻害剤の中止による肝類洞の変化は癌の転移を促進する

岩本 英希^{1,2,3}、古賀 浩徳^{1,2}、Yihai Cao³、鳥村 拓司^{1,2}
久留米大学内科学講座消化器内科部門¹、久留米大学先端癌治療研究センター肝癌部門²
Department of Microbiology, Tumor and Cell biology, Karolinska Institutet³

17:05~17:20 Coffee Break

特別講演 17:20~18:20

座長:広島大学大学院消化器・代謝内科学 茶山 一彰

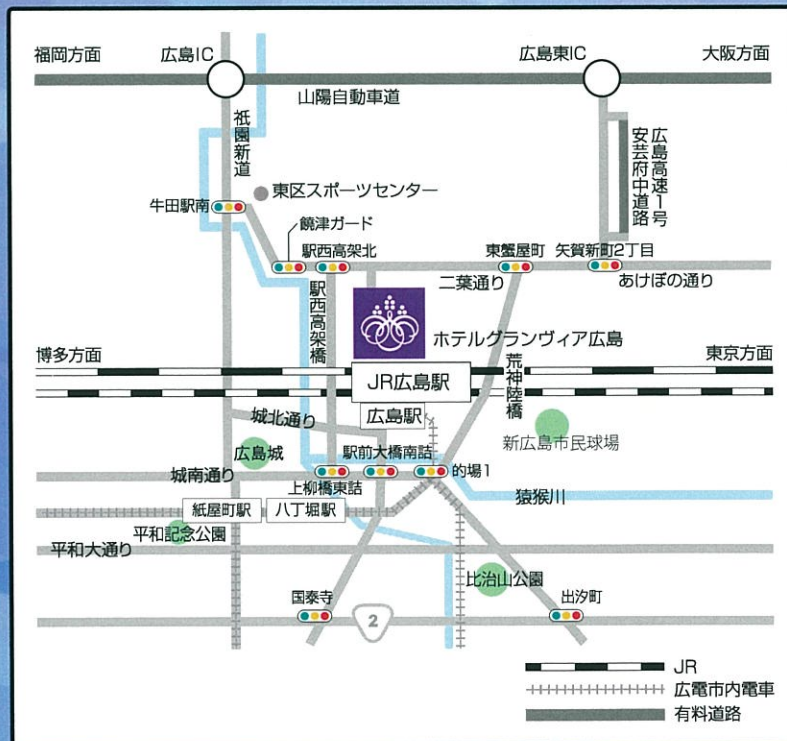
「ゲノム編集の基本原則と医学分野での可能性」

広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻 教授
山本 卓 先生

おわりに

広島大学大学院消化器・移植外科学 大段 秀樹

本シンポジウムは、日本医療研究開発機構(AMED)による補助を得ています
研究会終了後、意見交換会を予定しております



共催 / 広島肝臓プロジェクト研究センターシンポジウム・田辺三菱製薬株式会社